



「緑の防潮堤」

岩沼海岸植樹式の開催



6月30日（日）岩沼市下野郷で、「緑の防潮堤」岩沼海岸植樹式が執り行われました。

自然環境や景観に配慮した海岸堤防の復旧を進めるにあたって、宮脇昭氏（横浜国立大学名誉教授）提唱の”潜在自然植生に合致した広葉樹が混成する森で防波堤を作る”という「いのちを守る森の防波堤」の考え方を取り入れたものです。



堤防の陸側に植生の基盤となる土を盛り、この部分に地域の方々（約700人）から協力を得て、シイ・タブ・カシなどの苗木約7,000本を植樹し、「緑の防潮堤」を整備しました。



植樹後の堤防



植樹の様子

現場見学会 — 山元町行政区役員、山元町民の皆さん —

7月2日（火）山元町の坂元川河口部で、山元町行政区役員の方々が海岸堤防復旧工事を見学しました。

また、7月20日（土）に山元町民の方々が坂元川河口部の工事現場を見学しました。

中村出張所長から、「粘り強い海岸堤防」の構造や工事の状況など、説明を熱心に聞いていました。

見学いただいた方の中には津波により被災された方もおられました。



7/2 堤防の構造が書いてあるパネルの前で工事概要を説明しています



堤防にのぼり、堤防の高さを実感



7/20 堤防上で工事内容等を説明しました